

政策目標2

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
1	政策目標2	少子高齢化や人口減少が進むと、耕作放棄地の問題や商店街のシャッター通り化などの問題が出てくる。ばらまき型の財政運営ではなく、中心市街地に道路や街灯などの整備を進めていく必要があるのではないか。	小出支所	—
2	政策目標全般 政策目標2	30ページ以降に、茅ヶ崎市に特有の政策目標が見当たらない。水産業の振興についての記述があるが、茅ヶ崎市は本当に水産業を振興しようとしているのか。	小出支所	骨子は、市民ワークショップ、関係団体とのヒアリングを行いながら、市で作成したものである。今後10年間の計画であるため、色々な方向にも進めるような書き方になっているという面はあろうかと思う。今後、茅ヶ崎らしきを入れる視点で整理していきたい。
3	将来の都市像 政策目標2	観光立市をめざすべきではないか。工場等を今から誘致するのは遅いので、観光に重点的に取り組むのがよい。	小出支所	20～30年を見据えたなかで、大きな事業所を呼び込み税収を上げる方向なのか、静かに暮らせるまちをめざすのか、観光で人が賑わうまちをめざすのか、そういった大きな方向性について皆様のご意見をいただきたい。
4	その他 政策目標2	小出地区に関して、もっと行政と話し合う機会をつくってもらいたい。人口は増えないと考えられるので、都市開発を考えるのであれば、観光、インバウンドしかないと思う。	小出支所	小出地区の具体的な話になったが、インバウンドという視点は、茅ヶ崎全体にも共通することかと思う。
5	政策目標2	農業の株式化を頭に入れないながら、どう農地を集約していくかを考える必要があるのではないか。80歳以上の農業者の運転免許を返納してもらうための解決策にもなる。	小出支所	農業の関係と免許返納の関係は、気づかなかった。免許返納促進の方案を検討する会議があるので、持ち帰って共有する。
6	政策目標6 政策目標7 政策目標2	小出地区は、都市的な恩恵が少なく、台風や自然の猛威がくれば、道が塞がれるし、木が倒れて電線を切ればライフラインが寸断され、生活に大きな影響がある。こういったことまで含めて考えてもらいたい。小出小学校や避難所へ避難する道がないので、道路整備も早急をお願いしたい。周囲では農家の高齢化により農地が荒地になってしまいうケースも見られる。農業法人の若い人が農業をやってくれているので、その方たちが撤退しないように、彼らにはいつも声かけて応援している。小さいことかもしれないが、そういうことも見据えていかないと、荒地地になる。これを自然だと言葉だけで考えてもらいたくない。	小出支所	総合計画は網羅的なものになってしまう部分もあり、その中で自然の大切さをうたっていくことになるが、現実自然の中で暮らし、自然を管理している方々の大変さについては認識し、具体的な施策の立案において配慮していかなければならないと考えている。
7	政策目標2	道の駅建設について、収支見通しを提示してほしい	小出支所	(アンケート)
8	政策目標2 政策目標3 政策目標-行政経営	働き方改革ということが言われているが、市民が早く帰宅できるようにする、職員の仕事をAI化をしていく、といった視点があってもよいのではないかと。「高齢者がいきいきと輝き次世代につなげるまち」という政策があってもよいのでは。	香川公民館	働き方改革については、34～35ページにワークライフバランスの視点等から記載しており、労働環境の充実、多様な働き方の後押しなどを検討していく必要があるかと考えている。 庁内業務のAI化については、46～47ページのデジタル化の部分が該当する。RPA、ロボット技術の活用が言われているが、先進技術の進展は予想がつかない部分もある。そのため、AIという直接的な表現は避けているが、ICTを活用して職員が住民との合意形成などに注力していけるようにすべきと考えている。
9	政策目標2 政策目標-行政経営	働き方改革は推進するのは当然だが、そこでできた時間を有効活用するようにしたらと提案しました。	香川公民館	(アンケート)
10	政策目標2	農業政策について、茅産茅消の観念から政策が必要ではないですか？農業従事者も高齢化の中で、どう維持管理していくか課題である	鶴嶺公民館	(アンケート)
11	政策目標2 政策目標3 政策目標4	私たち萩園・新田・今宿の鶴嶺西自治連合地区は諸先輩の河畔開拓で形成された町社会として、今日にあって土地活用と地域民交流行事充実の生活とまちづくり促進活動が進行されており、日頃から市の総合計画など未来構想への反映と活用を期待してのご紹介と致します。 ・萩園・新田・今宿地域の魅力活動 ・歴史的伝統行事・習わし行事(各地神社まつり、自主水防団、環境・生活・通学などのパトロール、清掃活動) ・土地活用と地域民交流行事(高齢者笑寿会、交流サロン、自治懇談、慶弔会、学校行事支援)	鶴嶺公民館	(アンケート)
12	政策目標2	働く場所を創生していきたいというお話があったが、具体的な考え方やアイデアがあればお伺いしたい。	松林公民館	遊休地が多くあるわけではないので、かつてのような重厚長大産業を引っ張って行くことは現実的ではないと思っている。個々にフリーランスで働く、テレワークなど、働き方が少しずつ変わってきているなかで、行政としてどのようにしていくのか、産業界、経済界とも話をよく進めながら、やっていく必要があると思っている。
13	政策目標1 政策目標2 政策目標全般	財政面でこれからは伸びが期待できない。ロボット特区などの特区の中で企業を誘致して法人税を上げるということを考え、そういう質問をしようと思っていたが、今までの話を聞くと非常に暗い。もう少し明るい財政を、収入を上げるために今はこうしているとか、待機児童を解消してもっと働いてもらうとか、そういう明るい話をぜひ聞かせてほしい。	松林公民館	人口が減っていく、ただ高齢者の割合は増えていくという中で、1人の高齢者を支える人数も減ってくるというイメージで説明した。 今年、茅ヶ崎市は補正予算を取って国の地方創生の交付金などもいただき、その交付金を利用して子育て世代の転入プロモーションを展開しはじめており、子育て世代の引越先として茅ヶ崎市を選んでもらって来ていただくところを目指すプロモーションも始めている。 また、昨日のまちづくり懇談会では、観光のまちに特化していくべきではないかというご意見が幾つか出ていた。 そのようなことに対して皆さんからご意見があればいただきたいと思う。

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
14	政策目標2	柳島道の駅の件を取り上げてほしい。 大変良い意見交換でした。	松林公民館	(アンケート)
15	政策目標2 政策目標7	・空家対策としての企業誘致も考えてみてはどうか。 ・企業内保育施設を働きかけていくことはどうか。	松林公民館	(アンケート)
16	政策目標2	県無形指定文化財の浜降祭について市のバックアップをもっと大きくしてほしい。助成、交通規制。(例)134号の規制3時30分～10時頃を予定	松林公民館	(アンケート)
17	政策目標2	茅ヶ崎市全体に、外から入ってくるお金と出ていくお金の分析はしているのか。市内でどれだけ経済が回っているか、茅ヶ崎市内に落ちるお金はどれくらいか、をしっかりと分析すべき。 エネルギーのために出ていくお金が多いらしい。それを市内に入れることで、市内にお金落ちるはず。2回循環したら、市には倍のお金が入るはず。そういった分析を他市でやっている。それをやると、どの産業にお金を投資すると、市の豊かさにつながるなどのことがわかるため、やるべきでは。	市役所(9月21日)	Resasを見ている中で、地域経済循環は近隣と比較してうまく回っていない認識している。しかし、具体的にどこを投資すべきか、どういった政策を打つことが経済に効果的かということは、今後検討したい。
18	政策目標2	地域経済循環率が県内でも低いというところが気になっており、是非、34ページにあるような、地元経済を活性化する取組を進めてほしい。 一方、市の運営の効率化を進めるということで、支出を減らすというのは、大変よい取組だと考えるが、その前に、地域経済を活性化させる意味で、もっと民間活力を活用し、地域経済を回していくことが重要ではないか。	体験学習センター	地域経済循環率は向上していく必要があり、民間とタイアップして進めていく必要があると考える。審議会の中には、経済会の方も入っているため、意見をもらいながら、検討を進めていきたいと考える。
19	政策目標2	茅ヶ崎市は、ロボット特区に指定されているのに全然動いていないが、将来的にも、もう何もしないのか。それでよいのか。市長のトップセールスで、企業誘致などの施策を立てて、しっかりと活性化してほしい。 また、地域経済循環については、茅ヶ崎市の財政が厳しいことを市民にしっかり伝えて、市内で買えるものは市内で買ってほしいということを広く訴えるべきではないか。例えば、たばこ税は、通勤者が多い中で、東京などで買ってしまおうと、茅ヶ崎市に市税が入らない。財政が苦しいということを市が言わないから、買わないのでは。市民にとっては、市内でお金を落とすことで、結果的に行政サービスとして返ってくることになるので、しっかり伝えるべきである。	体験学習センター	歳入試算の中で、法人市民税について指摘をいただいた。数字の見込みについては、平成30年度の市内企業の業績調査を使って推計しており、提案のロボット特区による経済振興などについては、保守的に見るということで盛り込んでいない。 また、市内の経済循環については、提案の市内購入の促進など、具体的な取組について、引き続き検討していきたい。
20	政策目標2	34ページの2030年のありたい姿の「農地や漁港の持つ多面的な機能を活かした」はどういうことをイメージしているのか。	体験学習センター	農地であれば遊水機能、漁港であれば賑わいづくりなど、様々な活用ができるだろうということで、多面的機能の活用と表現している。これに限らず、一つの施策を打つことで、他の効果も得られるような、一つで二度美味しい取組を進めていきたいと考えている。
21	政策目標-行政経営 政策目標2 政策目標4 政策目標全般	社会の形が大きく変化する中で、悲観することなく未来を創っていくことが出来たらと思います。 ①そのためには、市民主体のまちづくりが大事だと思います。それに対して、現状は活動している人が限られていると思います。市民参加を促進するイベントの実施、コミュニティ形成、市民への業務委託が増えるといいと思います。 ②ハワイ、ホノルル姉妹都市であることをもっと活用して、観光、市のブランディング、相互留学、サーフィン大会など、バリアフリービーチ、茅ヶ崎らしさ、魅力を高められるといいと思います。 ③指標として、数値も大事ですが、具体的事例を出すのはいかがでしょうか？良い取り組みをしている市民活動、行政の動きが見えるといいと思います。	体験学習センター	(アンケート)
22	政策目標2	市として、どうしたら観光地になると考えているか。 お金の落ちる観光地にする必要がある。	小和田公民館	国道134号の魅力を高めたり、発見された遺跡があるなど、ポテンシャルはあると考えている。
23	政策目標2	観光に対して、魅力的な町だとは思っておらず、そのために施設をつくるようなレベルではないと考える。何かやるのであれば、例えば、サザンオールスターズがコンサートした時は何万人もの人が来たので、イベントを中心としたものはよいのではないかな。	小和田公民館	下寺尾の遺跡がどう整備されるか見えていないが、サザンのような、茅ヶ崎市の起爆剤となるものが増えたらよいと考える。
24	政策目標2	地引網を毎年やっているが、砂浜が減少し年々でなくなっている。国や県の力を借りて、地引網を使った観光ができる取組をしてほしいが、そういった取組の方向性はあるか。	小和田公民館	国、県にお願いする部分については、要望を出しているところである。ただ、なかなか、すぐに効果が出るものでなく、長期的な視野で取り組み続けるものであり、今後も引き続き、取り組んでいく。
25	政策目標2	16ページにこれからも厳しい財施状況が続くと書いてあり、34ページに活用がかいてあるが、産業の誘致、商業施設の誘致、観光客の誘致をしてほしい。	市役所(10月3日)	誘致ということでは、茅ヶ崎市は未利用地が少ない状況になっているが、区画整理をして進めているところもある。大規模な未利用地の活用は難しいが、様々な方法を考えたい。
26	政策目標2 政策目標7	産業の誘致、商業施設の誘致、農業を増やすことについて、茅ヶ崎だけで無理な場合は、寒川町と連携することなどできないか。 通勤客がいるが、相模線が不便である。寒川町や海老名市、JRと連携して、折り返し運転を増やすなど、もっと通勤客が住みやすい町にできないか検討してほしい。	市役所(10月3日)	観光客は増えている。道路のアクセスがよくなると、さらに人が増えると考えており、道の駅の活用を進めている。 広域連携については、消防事務は寒川と茅ヶ崎が協働でやろうとしている。また、ごみ処理は従来からやってる。寒川、藤沢とは協議会もあるため、連携について引き続き検討していきたい。
27	政策目標2 政策目標3 政策目標7	意見交換時に発言したものを再掲いたします。↓ ・財政の健全化に関して ①産業の誘致、商業施設の誘致、めぐまれた自然を活かした観光客の呼び込み等による税収の増加 ②市立病院の赤字解消(支出の削減) 民間に売却。半官半民による独立採算性 民間との統合・再編(厚労省の指標を参考に) ③茅ヶ崎市のみで産業誘致が難しい場合、寒川町との連携、さらにJR相模線の海老名折返し運転の導入等で海老名市、寒川町、そしてJRとの連携をお願いしたい。工場誘致のみでなく、農業についても連携が望ましいと思います。	市役所(10月3日)	(アンケート)

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
28	政策目標 5 政策目標 7 政策目標 2	・公園が現状少なく、さらに多くする必要があると思います。茅ヶ崎は住宅地が多いため、公園を増やすことで地域交流がしやすくなり、また、子育てする人にとって住んでいる近くで子どもを遊ばせることで、子育てしやすくなると思います。また、公園の施設内に、防災のための必要なものを設備することも将来的に必要だと思います。 ・茅ヶ崎内での働いている方の少なさというところで、中小企業にさらに力を入れていくべきであると思います。子育て世代や、高齢者が多くなる中、遠くへ働きにでるより、茅ヶ崎内で働ける環境があると働きやすくなると思います。そのため、茅ヶ崎内にある中小企業に対し、市がさらに支援し、働きやすい環境を作る必要があると思います。 ・観光業や農業について、茅ヶ崎は県内の中でも少ないと思います。茅ヶ崎は面積が少なく、なかなか農業についてできるものではないのですが、茅ヶ崎ブランドを作ることができたらいいと思います。観光については、経済的にも収入が多くなり、これから先必要であるとは思いますが、今の観光では、湘南など少ないと思うので、さらに増やす必要があると思います。 長くてだらだらとした文章で、うまく伝わっていなければ申し訳ありません。	市役所(10月3日)	(アンケート)